

Rotary Club of

Kangou

国際ロータリー第2570地区
川越ロータリークラブ会報

vol. 16

会員数	102名	免除出席者	4名	正会員出席者	58名	出席者	62名	早退	0名	出席率	62.0%
-----	------	-------	----	--------	-----	-----	-----	----	----	-----	-------

1. 点鐘 (12:30)
2. ロータリーソング：手に手つないで・R-O-T-A-R-Y
3. ビジターお客様紹介：無
4. 卓話講師紹介
西川和人 志木 RC (R 東日本大震災青少年支援連絡協議会委員)

5. 会長の時間

2022-23年度 会長 石井成人



皆様こんにちは、川越祭りも終わり、朝晩めっきり寒くなり、本日は私も首回りが寒いので、今月一杯はクールビズですがネクタイを締めてきました。

1年のうちで、今の時期が本当に良い季節です。食欲の秋、そしてスポーツの秋、明後日から読書週間です。皆さんは、最近本をお読みになっておられますか？ いま、日本の大学生は年間2冊、アメリカの大学生は26冊読んでいます。

ソクラテスは『書物を読むということは、他人が苦勞して成し遂げたことを容易に自分に取り入れて、自己改革する最良の方法である』と言っています。また、デカルトも『よき書物を読むことは、過去の優れた人たちと会話を交わすようなものである』と言っています。

私達、人間の脳はこの1万5000年の間ほとんど進化していないそうです。だとすれば、1万5000年前からの人間たちの行った、良い面、悪い面が書かれている書物を読めば、現代に生きる我々の先生になるはず。秋の夜長、それぞれの好みに合わせて、広くそしてある程度深い教養を身に付けて人生の糧とし社会のために良い本を沢山読むようではありませんか。

さて本日は、年次総会です。定款第7条、第2節の「年次総会」には、(a)役員を選挙するため、現年度の収支と支出を含む中間報告及び、前年度の財務報告を発表するための年次総会は、細則の定めるところに従い、毎年12月31日までに開催されるものとする。細則第4条会合、第1節 年次総会。この年次総会において次年度の役員及び理事の選挙を行わなければならない。とあります。

昨年度より、1か月程度、総会の開催を早めて実施することで、次年度への準備期間を十分に設けて、今年度と次年度をしっかりと繋げていこう、ということとなりました。坂口エレクトと連携を図って、今年度の活動も進めて行きたいと思っています。慎重審議の程よろしくお願い致しますとともに、快くご賛同をいただきたいと思ひます。

6. 年次総会 (議長：石井成人 会長)

定足数の確認ですが、本日の出席者数(62)名で、定足数に達しております。(第3節 会員総数の3分の1をもって本クラブの年次総会及び例会の定足数とする。102 ÷ 3 = 34人)



■前年度財務報告 吉澤前幹事

8月30日11時より前年度の理事会を開催いたしましたして、2021-22年小高年度の年度財務の審議が行われ承認されましたことをご報告いたします。理事会に先立ち8月23日10時30分より片山会計幹事による監査が実施されました。尚、この席には西川会員に幹事を補佐するという立場でご臨席いただいております。

財務諸表作成につきましては、藤井会計委員による銀行の残高証明、電子入出金記録のチェック等が行われ、それを基に財務報告書を作成させていただきました。

今回の監査実施時に様々な検討を行い、収入の部、支出の部の項目の変更を行い、立替金戻しという項目を収入の部に新たに作りしました。この変更につきましては、石井会長、野溝幹事にも報告し了解を頂いております。

それでは、2021-22年度の財務報告を行います。

収入の部、前年度繰越金5,716,898円、総収入31,699,940円。支出の部、総支出33,558,119円、次年度繰越金3,858,719円となりました。次年度への繰越金は、本会計より3,858,719円、式典準備金として5,787,387円、退職引当金として1,200,402円、特別事業準備金として5,000,020円となりました。

前年度の特徴といたしましては、ニコニコボックスに関して前年度より一律調整を辞めましたが予算以上の収入となったこと。二つ目にクラブ管理部門の活動費のみが予算をオーバーしました。これに関してはHPの改変に予想より費用がかかったことが理由です。一方、コロナの影響があり奉仕プロジェクト部門に関しては予算に対して大幅な未達に終わりました。以上が前年度の特徴でございます。

西澤会員より特別事業準備金における20円の差額について質問がありました。吉澤前幹事より前年度特別準備金2,000,000円の金利収入です。と回答

■本年度財務(中間)報告 野溝幹事

今年度7~9月までの四半期の会計報告をさせていただきます。収入の部、会費、入会金の徴収は滞りなく推移しております。前年度繰越金を含めて今年度収入合計11,571,860円となりました。これは今年度収入予算額の32.87%であります。支出の部、RI人頭分担金、地区分担金等の負担金、2,868,147円を支出致しました。これは今年度負担金支出予算額の44.85%となります。その他クラブ運営費、クラブ管理部門活動費、クラブ運営部門活動費、奉仕プロジェクト部門活動費、青少年奉仕部門活動費、R財団・米山部門活動費等順調に実行されていることを報告いたします。



■次年度理事・役員選挙 片山指名委員長

会長：坂口 孝/直前会長：石井成人/会長エレクト：西川孝博/幹事：栗原雄一/副会長：吉澤徳安/副会長：小高 章/会計：住谷治男/S.A.A.：小林勇次郎/理事：片山幸雄、高

橋哲彦、島村拓史、蓼沼光夫、八木拓也、山田哲也、齊藤 智以上、拍手をもって承認と致します。



■次年度会長あいさつ 坂口 孝

只今ご承認いただきました通り、来年の7月1日より会長として今回ご承認いただいた理事・役員の方々と一緒に一年間川越 RC を担っていきます。多くの会員の方々のお力をお借りしながら頑張っていきたいと思ひます。私が要望しておりました戦略計画も、今年度中には吉澤戦略計画委員長が纏めていただけると思ひますので、石井会長、私、次の西川会長ノミニと繋ぎながら川越 RC を盛り上げていきたいと思ひております。どうぞ宜しくお願いいたします。

7. 幹事報告

2022-23年度 幹事 野溝 守



・今泉清詞会員御令室 マサ様(享年99歳)の通夜式・告別式が24・25日営まれました。
・10月18日、理事役員炉辺会合を開催し、四半期の事業報告を行いました。
・10月23日、大宮 RC 主催「ポリオ根絶チャリテークラシックカーラリー」の、川越一番街走行を応援致しました。

・11月1日、例会終了後、午後2時15分より川越市立美術館で開催されている「小茂田青樹展」鑑賞致します。
・10月でクールビズは終了致します。

<配布物>

・会報、2021-2022年度会計資料、卓話資料、JYC 物品支援報告。

8. 委員長報告

10月23日(日)鶴ヶ島 RC で、米山奨学生のスピーチコンテストが開催されました。当クラブのミンさんも、日本に文化おける暗黙のルールについて、スピーチされました。本年度15名の奨学生から11名が参加して、それぞれ4分間という短い時間にも拘わらず、しっかりと日本の文化や、ホスピタリティ、について主張できることに感心しました。テーマとしては、食文化、アニメ、日本語、財布を忘れたが出てきた、バスや鉄道の時間について、等、普段気づかないことに、目を向けられて、感心しました。自分にとっても、たいへん勉強になりました。京野さん、山崎さんありがとうございました。

9. 次週卓話紹介(インターアクト和田委員長)

次回11/1日はインターアクト週間ですので、星野高校インターアクトクラブの方にお越しいただき今の活動と進捗状況をお話していただきます。

10. ニコニコボックス

●今泉清詞バスト会長ご令室マサ様のご逝去に接し、心よりお悔み申し上げます。(会長、幹事)

●小谷野和博会員、待ちに待ったご子息のご結婚おめでとうございます。(会長、幹事)

●R 東日本大震災青少年支援連絡協議会(ロータリー希望の風奨学金) 委員西川和人様、本日の卓話よろしくお願ひ致します。(会長、幹事)

●小谷野さん御子息の御結婚おめでとうございます。まずは安心ですね! (西澤、小杉、小峰、山口(裕)、坂口、長島、小高、小川、西川、藤井、栗原、水村、島村、小林、青柳、住谷、佐藤(道)、齊藤(智)、伊藤、岩堀、山崎)

●先日は息子の結婚披露宴に石川会長をはじめ多くの方々にご列席いただきましてありがとうございます。おかげさまで、和やかな会になりました。(小谷野)

●志木 RC 西川さん、本日の卓話宜しくお願いします。楽しみにしております。(坂口、小高、鈴木(壮)、栗原、山田(和)、小杉、西澤)

●本日は貴重なお時間をくださいませありがとうございます。(志木 RC 西川)

●先日は家内の誕生日に素敵なお花をお贈りくださりありがとうございます。(若林) 合計44,000円

11. 出席報告

12. 卓話



●講師：西川和人 志木 RC

R 東日本大震災青少年支援連絡協議会委員

本日は、昨年度創立70周年を節目を迎えられ、歴史と伝統ある川越ロータリークラブの例会にて貴重なお時間をいただき、「ロータリー希望の風」のお話をさせていただく機会をくださいませ、誠にありがとうございます。私はロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会にて会計を担当しております志木ロータリークラブの西川和人と申します。皆様には日頃より希望の風奨学金への多大なるご支援を賜りましてこの場をお借りして心より感謝申し上げます。ロータリー希望の風奨学金は東日本大震災で両親もしくはひとり親を失った遺児で大学(短大を含む)専門学校に学ぶ方へ入学から卒業まで毎月5万円を継続して給付し、返還を求めない奨学金です。このプログラムも開始から11年、つまり、あの震災から11年が経過し、震災当時0歳だった子どもも対象としているため、その子が四年制の大学を卒業するまで、最短で22年間(2033年、令和15年まで)継続するプログラムです。まさに今が丁度折り返し点、今後10年以上続く事業となっております。

被災された子ども達が自らの夢の実現のため学業に向かう姿を想像し、このプログラムが奨学生にとって有意義で大切なプログラムであることを実感できます。進学先はそれぞれですが、教育や医療・看護等の学校へ進まれる奨学生も多数いらっしゃいます。現在支給対象の学生の皆様は震災当時小学校低学年だった方々です。震災を経験し、未だ暗い闇を抱える遺児やその家庭に寄り添い、いつでもそっと遺児たちの背中を押す風であり続けたいという想いを込め、未来ある若者たちへの支援への強い使命感をもって会計職を務めております。

今日現在では140名の奨学生に皆様から頂いたご支援金を奨学金として送金しております。単純計算で、月額5万円を140名に送金となりますので、毎月700万円をお振込みしております。2011年11月のプログラム開始以来の奨学生の総数は541名、このうち今年3月までに卒業された奨学生は319人となります。ですが、様々な要因で、休学したり、退学したり、卒業まで支援が叶わない学生もおります。

お寄せいただける支援金はここ5年で年約4000万円程度となるため現状を維持出来れば、23期(令和15年、2033年)まで続けることが出来る見通しではありません。しかしながら、この3年はコロナ禍の影響で、各クラブでの例会開催、地区大会、チャリティイベントの開催が減り、ご支援金も少なくなっております。実際に、志木クラブでもコロナ前は月4回の例会が月2回の開催と減ってしまい、毎例会ごとにスマイルとともに希望の風奨学金の支援を頂いておりますが、会員皆様からご支援いただく機会が減ることにより、支援金総額に影響が出ております。

今後の見通しとして、協議会では、このまま支援金の減少傾向に歯止めがかからない場合は、資金が枯渇し、プログラムを継続できなくなることを想定し、奨学金の給付を終了するか、給付金額を減額するか判断しなければなりません。次年度の給付の状況を決めるために、毎年10月に総会を開催することとなりました。今年度は明後日27日に協議会の臨時総会がございます。今後は毎年10月に次期入学者(翌年4月)の対応を協議・決定していくこととなりました。

皆様、ご清聴くださいませ誠にありがとうございます。

※詳細はHPをご覧ください。

